

野生動物管理学についての出前講義を 受講しました！

生産科学科3年動物専攻生12名が、9月16日（水）と17日（木）の2日間、各個人の課題研究を推進するために、外部講師を招いて出前講義を受講しました。

初日は、岐阜県森林研究所森林環境部の岡本卓也氏より、二ホンジカ等の生態やセンサーカメラを用いた調査方法等について講義していただきました。2日目は、岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センターの原口句美氏より、(駆除された)野生鳥獣の利活用としてのジビエ料理開発等について講義をしていただきました。専攻生は、今後の課題研究の進め方について、いろいろとアドバイスをいただきました。



鹿肉を利用したスウェーデン風ミートボール



講師の 岡本 卓也 氏（岐阜県森林研究所）



センサーカメラの操作方法を学ぶ専攻生。今後計画中の養老町内の野生動物調査の参考になりました。



鹿、イノシシ、牛、鶏の4種類の脂肪を用いて融点の違いを検証する実験。右端は講師の 原口句美 氏（岐阜大学附属野生動物管理学研究センター）



ジビエ料理（スウェーデン風ミートボール）に挑む専攻生。今後のジビエ料理開発の大きなヒントになりました。